



かがやく浜の子

平成30年度 5月号

平成30年度重点目標 気づき 考え 行動する子 「自分から みんなで」

「あさしおごはん」の伝統

御存じの通り「あさしおごはん」は、白羽小学校で長く受け継がれている「合い言葉」です。この言葉はいつから言われるようになったのでしょうか。まずは、児童昇降口の上部に設置されている「あさしおごはんの看板」について調べてみることにしました。この看板は、平成10年の6月に設置されました。ですから、平成10年以前から言われていたことは確かです。（現在のものは、昨年度に付け替られるとともに、新しく校舎北側にも設置されました。）



【平成10年当時の看板】

次に、過去の学校経営書（その年の学校教育の方針等を記した冊子）を紐解いてみました。看板が設置された平成10年度を見てみると、道徳教育の項に「浜の子あいさつ運動・・・合い言葉『アサシオゴハン』」と記されていました。さらに、さかのぼって追っていくと平成5年までは同じように載っていましたが、平成4年の冊子には、見つかりませんでした。

どうやら、「あさしおごはん」は、平成5年から使われるようになったと推測されます。今年で丁度四半世紀。当時、小学校6年生だった方は、今年37歳になります。校訓ではない「合い言葉」が、これほど長く続いていることは、まれなことです。それほど、その時々の児童、保護者、教員、地域の方々から大切にされてきたのだと考えます。

「あさしおごはん」の伝統を更に継続・発展させるために、できることのひとつと言えば、校門のところで、子どもたちに挨拶を呼びかけることです。毎日立っていると、気持ちの良い挨拶ができる子が何人もいることに気がつきます。

- ① 大きな声で元気に挨拶する子
- ② 姿を見つけると、遠くからでも挨拶をする子
- ③ 「校長先生、おはようございます。」と、名前をつけて挨拶する子
- ④ お辞儀（会釈）をつけて挨拶する子



【朝礼での挨拶の実演】

などです。このような挨拶をさらに広めようと、5月の朝礼では、それぞれの挨拶ができる子どもたちに、お手本として実演をしてもらいました。見ている子には、今の自分の挨拶の仕方について「気づき」、明日から自分ができそうな挨拶を「考え、行動する子」になろうと呼びかけました。

果たして、翌日には、よりよい挨拶をしようと大きな声で挨拶したり、「校長先生」と名前をつけて挨拶したりする子が増えました。しかし、さらに挨拶を白羽小学校の伝統にするためには、

継続しての取組が必要だと考えています。今年度、発足した「あさしおごはん委員会」の子どもたちも、毎朝の挨拶の呼びかけをし、昼の校内放送で挨拶の良かった友達を紹介しています。

ぜひ、保護者・地域のみなさんも、今まで同様、子どもたちに挨拶の声をかけて、応援してくださるとありがたいです。



【あさしおごはん委員会の挨拶】

朝礼では、「挨拶」に「運動会の練習」「毎日の授業」を加えた3つを、5月に『自分から みんなで』がんばることとして、子どもたちに話しました。運動会に向けた練習を通して、積み重ねによって進歩することや、仲間と協力することのよさを実感させたいと思います。特に6年生は、小学校生活最後の運動会です。応援練習や縦割り種目などのリーダーを担うことで、大きく成長することを期待しています。（文責 校長：石谷）